



かながわ組織内コミュニケーション回復・強化事業

特定非営利活動法人 CR ファクトリー

活動

団体の信頼関係・ネットワークを回復させる4つのプログラム

新型コロナウイルスの影響により、活動が困難となった、または停滞したボランティア団体の信頼関係やネットワークを回復させることを目的としました。そのために、以下4つの取組を行いました。

- ①コミュニティキャピタル診断／代表者事前・事後アンケート
- ②ギャザリング(集合研修)キックオフ・中間・最終
- ③コミュニティマネジメント塾 全5回
- ④伴走支援

はじめに、①で、現状の組織の状態や課題を把握。②のキックオフギャザリングでコミュニティキャピタル診断の結果を共有し、組織の現状を認識してもらい、どこに課題がありそうか。また「強くあたたかい組織」にしていくためにどのような取組が必要そうかを団体ごとに検討してもらいました。

その後、講義とワークを交えた③を実施。「強くあたたかい組織」を作るために必要なことを学んでいただきました。

Check !



<事業基本データ>

実施期間 2022年度

委託料 計5,000千円

④では、あらためて現時点での団体課題をヒアリングし、各団体に1名ずつ伴走者をつけ、ありたい姿に近づくようにミーティングを重ねながら支援を実施しました。



▲ ギャザリング(集合研修)ワーク中の様子

成果

コミュニティキャピタル診断での数値がアップ

代表者事前・事後アンケートの結果から定量的に見たところ、組織の状態に関する以下すべての項目において、事前・事後で数値がアップしていました。※すべて10点満点で評価

- ・組織の状態を点数化
- ・メンバー、スタッフの活動に対する主体性
- ・団体の活性度、活発度
- ・メンバー間のコミュニケーション良好度
- ・メンバーの自己有用感
- ・神奈川県内の団体とのネットワーク

また、コミュニティキャピタル診断の結果においては、伴走支援を3人以上で受けた団体6団体中5団体が総合的(①理念共有 ②自己有用感 ③居心地の良さ)に事前・事後で数値がアップしていました。

実際の行動としても、コミュニティマネジメント塾での学びを団体に持ち帰り、お互いのことを知るため



担当者のコメント

事務局長
高橋 智子さん

全ての参加団体さんが時間のない中、熱心に講座やギャザリング(集合研修)に参加しているのを見て、つながりが希薄だったこの時期だからこそ、再びつながりを取り戻そうとされているのを感じました。開催中に緊急事態宣言が出ることも考慮し、コミュニティマネジメント塾はハイブリッド方式、ギャザリング(集合研修)は対面開催で行いました。

ギャザリングという対面の場を設けることにより、神奈川県内の団体同士での交流が活発になり、県内でのネットワークを作ることができたと思います。みなさんの神奈川県内での活動を引き続き応援しています！

のワークショップを行った団体や、他者の力を借りて任意団体からNPO法人化に進む団体が出るなど、講座や伴走支援がきっかけにこれまで行われなかったアクションがみられました。



▲ ギャザリング(集合研修)感想の共有

★ 参加団体の声 ★

- ・音楽をやっている私たちが仲良くなるのがなぜ重要か、これを言葉にできたことが大きかった。事業をやる前と後で明らかに関係性が変わり、コンサートでのいい演奏につながった。
- ・塾での講義やギャザリング・伴走支援を通じて、いままで躊躇していた自分の弱さを自分の強みに変換することが出来た。



特定非営利活動法人
CR ファクトリー

代表者 代表理事 呉 哲煥

設立 2005年9月

住所 〒108-0014
東京都港区芝 4-7-1
西山ビル4階

活動紹介 目的を共有し、互いに共感し、支え合うあたたかい共同体＝「コミュニティ」と定義し、すべての共同体がコミュニティとなるよう、組織マネジメントや人材育成の支援を実施。

11 奨励賞



鷹取山を「自然観察できる里山」にすることを 目標とした活動の実施

鷹取山自然観察会



▲ 自然観察会の活動の様子



▲ 自然観察ガイドの冊子

実績

地元市民や学校などを対象として自然環境の大切さ、自然とのふれあいの機会を提供するため、定期的に自然観察会を開催しています。

また、「鷹取山の自然観察ガイドブック」の作成、地域の自然環境を保全するため貴重植物の保護、樹木板の設置、植樹活動を行っています。

このほか、この地域の自然を把握するため、植物相、蝶類、鳥類など、生き物調査を継続して行っています。

これからも、仲間を増やして活動を続けていきたいと思っています。

任意
団体

鷹取山自然観察会

代表者 代表 本多 久男

設立 2011年 4月

住所 横須賀市



都市近郊にある木もれびの森の保全活動の実施

特定非営利活動法人相模原こもれび



▲ イベントでの薪、ホダ木の販売の様子



▲ 枯損木の伐木の様子

実績

相模原の真中に広がる「木もれびの森」は四季ごとにさまざまな姿を見せ、市民の憩いの場となっています。20年前の当会立ち上げの頃は荒れた暗い森でした。市と森づくりパートナーシップ協定を締結し、草を刈り、間伐を繰り返し今に至っています。

また、周辺小中学校への学習支援など、子どもの健全育成活動や市民への自然保護の普及活動を合わせて行い、この森が次世代までも市民の財産として継承されていくことを願い活動を続けていきます。

NPO
法人

特定非営利活動法人
相模原こもれび

代表者 理事長 平野 和夫

設立 2004年 4月

住所 相模原市中央区上矢部 4-11-7

13 奨励賞



子どもたちに喜びと自信を届ける小学生絵画 コンクール「かながわ夢絵コンテスト」の運営

特定非営利活動法人こどもネットミュージアム



▲ 障がい者の方が作品管理をする様子



▲ コロナ禍でのオンライン表彰式の様子

実績

「かながわ夢絵コンテスト」は今年で28回を迎え、集まった夢絵は約12万点となりました。子どもたちに喜びと自信を届けるため、毎年多くの賞を贈り、子どもたちからは、喜びが詰まった「ありがとう」の手紙が届きます。中でも、地元の企業から贈られる「企業サポーター賞」は、多様な職業を子どもたちが知るきっかけになっています。

また、コンテストの運営を障がい者の方々と行うことで、作品が集まるほど障がい者の雇用が増える仕組みを作り、子どもたちと社会を繋げています。



特定非営利活動法人
こどもネットミュージアム

代表者 代表理事 鈴木 晶

設立 2011年 1月

住所 横浜市神奈川区鶴屋町 2-21-8
第1安田ビル6階



地球温暖化等の環境課題を、子どもが楽しむ体験を通して考える活動の実施

子どもと親の環境教室「地球っ子ひろば」



▲公民館でのエコかるた取り



▲里山でのネイチャーゲーム

実績

2002年より地域の「子どもと保護者対象の環境教室」を開催し、

- ①様々な環境問題のプログラムによる定例教室
- ②学校などから依頼を受けて開催する依頼教室
- ③桜まつり、環境フェアなど地域イベントでの教室開催

など3種の教室を延べ370回ほど開催してきました。

体験重視の活動では、里山、川、田んぼ等に出かけ自然体験や、ソーラークッカー、万華鏡、紙漉き、豆腐作り体験や、川の水質検査などの学びの場を提供しています。

任意
団体

子どもと親の環境教室
「地球っ子ひろば」

代表者 代表 齋藤 美代子

設立 2002年 4月

住所 平塚市



スローコミュニケーションプロジェクト 情報コミュニケーションから誰ひとり取り残されない社会へ 一般社団法人 4Hearts



▲ 茅ヶ崎市役所新人研修の様子



▲ 茅ヶ崎市立図書館でのイベントの様子

実績

情報コミュニケーションから誰ひとり取り残されない社会をビジョンに、地域や企業と連携してまちづくりに取り組んでいます。神奈川大学工学部経営工学科人間工学研究室と共に、商業施設の各店舗で、音声認識機器の設置実証を実施。茅ヶ崎市立図書館では、ヘッドホンやアイマスクを活用し、見えない・聞こえない・話せない状況の3人で協力しあって、指定された本を探すイベントを開催。街の店舗には、音声認識機器を活用したサービス向上コンサルティングを提供。行政や企業に向けた研修や講演へと展開しています。

一社法人	一般社団法人 4Hearts
代表者	代表理事 那須 かおり
設立	2019年 9月
住所	茅ヶ崎市